

① 検査項目と内容

(表 24)

検査目的	検査項目	検査の意味	検査結果でわかること	点検項目
<b>1 血液一般</b>				
全身細胞を維持するのに必要な条件をみる				
酸素が十分足りているか	赤血球	1mm <sup>3</sup> 中の赤血球の数をみています。赤血球はいわば酸素を運搬するトラックです。	赤血球や血色素が基準値より少ない(貧血)と「酸素が不足気味」ということとなります。からだの隅々までに必要な酸素量がすぐに届かないので、だるくなったり、息切れがしたりします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事のバランス、量</li> <li>・胃の健康状態</li> </ul>
	血色素量	赤血球の中にある酸素を引っ付ける成分です。赤血球という酸素運搬トラックの荷台の大きさをみるのが血色素量(ヘモグロビンともいいます)と考えてみるとよいでしょう。	ひどくなると心臓にも負担をかけます。また、特に脳の細胞(中でも記憶に関係する場所)は酸素不足に弱いです。赤血球や血色素が減少している原因を考えてみましょう。血色素の材料は「鉄」と「蛋白質」です。どちらが不足しても作れません。	
	ヘマトクリット	血液全体のうち、赤血球の割合をみています。		
からだを守る条件をみる				
	血小板	止血する力をみています	肝硬変で減少します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝機能検査</li> <li>・医療機関で精密検査</li> </ul>
	白血球	からだに進入してきた有害・有毒な物質(菌、ウイルス、異物等)を捕らえ、排除したり、殺したりするからだの「警察官」です。	からだのどこかが細菌による感染を起していれば増加します。肝硬変があれば減少傾向になります。薬剤の副作用でも減少します。	
<b>2 肝機能検査</b>				
口から入ったものはすべて、いったん肝臓を通り、「検閲」を受けます。例えば、化学物質(アルコールや薬など)を解毒・分解したり、食物等をからだ(細胞)で使える形に合成しなおしたり、コレステロールや脂肪、糖の処理など。この「検閲」が終わらないと、「栄養」として全身には送り出せません。肝臓は私たちのからだの維持に関わる重要な臓器です。飲み食いが多いなど、その仕事がおオーバーワークになるといずれかのデータが上昇してきます。				
全身の細胞を維持するのに必要な条件をみる				
	総蛋白	血液の中の蛋白質です。全身の細胞やホルモンを作る等からだの材料になりますが、足りているかどうかみています。食物を材料に肝臓で合成されます。	減少する原因として、栄養不足や腸での吸収が悪い、肝細胞が傷んで合成できないなどが考えられます。 逆に、おかずを食べ過ぎることによって増加します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おかずの量とバランス</li> </ul>